

野球聖地「甲子園」

Renaissance Symposium

武庫川女子大学生活美学研究所 第33回シンポジウム

2024/01/20 (土) 13:30-17:15

の 景観と興

阪神甲子園球場は今年竣工100周年を迎えます。関東大震災の翌年、六十干支に因み、再生と復興の願いを込め、甲子園と命名されました。この球場を中心として広がる甲子園地域の景観には様々な要素があり、地域の資源の総和と住民の共創の空間です。本シンポジウムでは、美学や身体論、建築論、景観とまちづくりに関わる研究者によるディスカッションをつうじて、甲子園というシンボルのダイナミズムについて考えます。

ゲスト講師

清水諭

筑波大学体育系教授

ピアノ演奏

奈良田朋子

本学音楽学部教授

- 13:00 受付開始
13:30 開会挨拶：森田雅子
13:45 基調講演：清水諭「甲子園野球の物語と現在」
14:35 報告1：黒田智子「甲子園ホテルにみる聖地の潜在性：近代と交差する土地の記憶と建築表現」
15:00 報告2：三宅正弘「西宮七園の興隆 阪神間モダニズムに甲子園ホテルが果たした役割」
15:30 特別演奏：奈良田朋子「阪神間モダニズムの作曲家 大澤壽人」
『小デッサン集 (Sept.1934)』より
15:40 報告3：森田雅子「記憶の地・感興の時・景観の共創：甲子園
—聖地の生成と象徴性再生産プロセスに対する住民評価の研究」
16:15 全体討論
17:00 閉会挨拶：横川公子 (附属総合ミュージアム館長)
総合司会：松本佳久子

生活美学研究所研究員
黒田智子

生活美学研究所研究員
三宅正弘

生活美学研究所所長
森田雅子

聴講をご希望の方は右のQRコードよりお申し込みください
会場は武庫川女子大学 甲子園会館 (旧甲子園ホテル) 西ホール
対面での定員 100名 (要申込・先着順・参加費無料)
対面申込みの締切は2024年1月9日*オンラインは当日まで受付
(オンライン会議システム zoom によるウェビナー)

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です 携帯電話のご利用マナーにご協力ください

お問合せ先
武庫川女子大学生活美学研究所
〒663-8121 兵庫県西宮市戸崎町 1-13 TEL:0798-67-1291 (受付時間：祝日、冬季休業 12/22-1/8 を除く月～金 10:00～16:00)
E-mail:seibiken@mukogawa-u.ac.jp

出典:にしのみやオープンデータサイト (https://archives.nishi.or.jp/04_entry.php?mkey=1604) を加工して作成
出典:にしのみやオープンデータサイト (https://archives.nishi.or.jp/04_entry.php?mkey=1482) を加工して作成

科学研究費 (19K12597 基盤研究 (C)) 「聖地研究 甲子園—聖地の生成と象徴性再生産プロセスに対する住民評価の研究」の研究課題の集大成として研究成果の地域還元のためシンポジウムを実施する

対面



オンライン



年間テーマ 「興」

